

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年7月27日

【四半期会計期間】 第23期第3四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社サイバーエージェント

【英訳名】 Cyber Agent, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤田 晋

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区宇田川町40番1号

【電話番号】 (03)5459-0202 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 中山 豪

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区宇田川町40番1号

【電話番号】 (03)5459-0202 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 中山 豪

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第3四半期 連結累計期間	第23期 第3四半期 連結累計期間	第22期
会計期間	自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高 (百万円)	341,852	357,708	453,611
経常利益 (百万円)	23,174	28,463	30,493
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1,776	5,879	1,694
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,068	12,791	5,670
純資産額 (百万円)	108,780	120,362	110,352
総資産額 (百万円)	215,679	235,860	224,876
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	14.10	46.63	13.45
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	12.97	43.79	12.21
自己資本比率 (%)	36.4	35.7	35.2

回次	第22期 第3四半期 連結会計期間	第23期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.47	8.87

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。  
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

2020年のスマートフォンを中心としたインターネット広告市場は、前年比11.0%増の18,459億円（注1）と順調な成長が見込まれております。特に動画広告市場の順調な成長が予想され、2020年は前年比26.9%増の3,289億円に拡大し、2023年には5,065億円に達すると予測されております（注2）。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため「ABEMA」への投資をしつつ、当第3四半期連結累計期間における売上高は357,708百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は28,511百万円（前年同期比21.9%増）、経常利益は28,463百万円（前年同期比22.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,879百万円（前年同期比230.9%増）となりました。

出所（注1）電通/サイバー・コミュニケーションズ/ D2C / 電通デジタル「2019年 日本の広告費 インターネット広告媒体費 詳細分析」

（注2）当社/デジタルインファクト「国内動画広告の市場動向調査」

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### メディア事業

メディア事業には、「ABEMA」、「Ameba」、「タッブル誕生」等が属しております。

「ABEMA」への投資をしつつ、売上を伸ばし、売上高は39,437百万円（前年同期比15.0%増）、営業損益は13,288百万円の損失計上（前年同期13,234百万円の損失計上）となりました。

#### ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)Craft Egg、(株)サムザップ等が属しております。

主力タイトルが堅調に推移し、売上高は116,815百万円（前年同期比2.0%増）、営業損益は23,142百万円の利益計上（前年同期比21.6%増）となりました。

#### インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

巣ごもり需要が見込める広告主へ営業強化を行い、売上高は204,419百万円（前年同期比5.8%増）、営業損益は17,130百万円の利益計上（前年同期比16.4%増）となりました。

#### 投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は3,675百万円（前年同期比41.8%減）、営業損益は2,931百万円の利益計上（前年同期比39.6%減）となりました。

#### その他事業

その他事業には、(株)CAM、(株)マクアケ、(株)ゼルビア等が属しており、売上高は14,367百万円（前年同期比2.3%増）、営業損益は1,264百万円の利益計上（前年同期比132.3%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は235,860百万円(前連結会計年度比10,983百万円の増加)となりました。これは、主に利益の拡大に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は115,497百万円(前連結会計年度比974百万円の増加)となりました。これは、主に前受金及び預り金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は120,362百万円(前連結会計年度比10,009百万円の増加)となりました。これは、主に非支配株主持分の増加によるものであります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は35.7%(前連結会計年度比0.5ポイント増)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、3,388百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	379,279,800
計	379,279,800

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年7月27日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	126,426,600	126,426,600	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	126,426,600	126,426,600	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年6月30日	-	126,426,600	-	7,203	-	2,289

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 333,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 126,074,200	1,260,742	権利内容に何らの限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 18,500	-	-
発行済株式総数	126,426,600	-	-
総株主の議決権	-	1,260,742	-

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の失念株式が27,800株含まれております。また「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数278個が含まれております。

## 【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株)サイバーエージェント	東京都渋谷区宇田川 町40番1号	333,900	-	333,900	0.26
計	-	333,900	-	333,900	0.26

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年10月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	84,565	90,425
受取手形及び売掛金	54,917	56,282
たな卸資産	924	1,694
営業投資有価証券	14,239	17,779
その他	14,093	15,089
貸倒引当金	77	88
流動資産合計	168,662	181,182
固定資産		
有形固定資産	12,998	13,300
無形固定資産		
のれん	1,196	1,060
その他	23,192	22,023
無形固定資産合計	24,388	23,084
投資その他の資産		
その他	18,806	18,263
貸倒引当金	20	19
投資その他の資産合計	18,785	18,243
固定資産合計	56,172	54,629
繰延資産	41	48
資産合計	224,876	235,860
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,151	37,818
短期借入金	940	880
未払法人税等	7,014	5,946
その他	24,643	27,016
流動負債合計	70,749	71,661
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	40,434	40,357
長期借入金	83	25
勤続慰労引当金	1,409	1,543
資産除去債務	1,795	1,872
その他	50	38
固定負債合計	43,774	43,836
負債合計	114,523	115,497



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	6,181	8,136
利益剰余金	61,090	62,800
自己株式	459	353
株主資本合計	74,015	77,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,000	6,202
為替換算調整勘定	152	140
その他の包括利益累計額合計	5,153	6,342
新株予約権	925	944
非支配株主持分	30,258	35,289
純資産合計	110,352	120,362
負債純資産合計	224,876	235,860

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	341,852	357,708
売上原価	241,047	252,217
売上総利益	100,805	105,490
販売費及び一般管理費	77,411	76,979
営業利益	23,393	28,511
営業外収益		
受取利息	104	101
受取配当金	110	116
その他	241	140
営業外収益合計	456	358
営業外費用		
支払利息	8	11
持分法による投資損失	507	311
その他	160	82
営業外費用合計	675	406
経常利益	23,174	28,463
特別利益		
関係会社株式売却益	749	79
その他	280	8
特別利益合計	1,030	88
特別損失		
減損損失	5,744	4,508
その他	2,057	984
特別損失合計	7,801	5,493
税金等調整前四半期純利益	16,402	23,058
法人税、住民税及び事業税	10,919	11,726
法人税等調整額	298	283
法人税等合計	11,217	11,442
四半期純利益	5,184	11,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,407	5,736
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,776	5,879

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	5,184	11,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	947	982
為替換算調整勘定	160	14
持分法適用会社に対する持分相当額	8	208
その他の包括利益合計	1,116	1,175
四半期包括利益	4,068	12,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	848	7,068
非支配株主に係る四半期包括利益	3,219	5,722

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
減価償却額	7,207百万円	6,540百万円
のれんの償却額	160百万円	135百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月14日 定時株主総会	普通株式	4,026	32	2018年9月30日	2018年12月17日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月13日 定時株主総会	普通株式	4,157	33	2019年9月30日	2019年12月16日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	ゲーム	インター ネット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	26,751	114,181	181,711	6,318	12,889	341,852	-	341,852
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,556	318	11,537	-	1,150	20,562	20,562	-
計	34,307	114,499	193,249	6,318	14,040	362,415	20,562	341,852
セグメント利益又は損失 ( )	13,234	19,037	14,717	4,849	544	25,914	2,520	23,393

(注)セグメント利益の調整額 2,520百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メディア」、「ゲーム」、「インターネット広告」、「その他」、「全社」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下及びサービスの廃止等により当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

メディア	1,270百万円
ゲーム	1,589百万円
インターネット広告	2,524百万円
その他	347百万円
全社	12百万円
合計	5,744百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	ゲーム	インター ネット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	33,602	116,615	190,748	3,675	13,066	357,708	-	357,708
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,835	200	13,670	-	1,300	21,006	21,006	-
計	39,437	116,815	204,419	3,675	14,367	378,714	21,006	357,708
セグメント利益又は損失 ( )	13,288	23,142	17,130	2,931	1,264	31,180	2,669	28,511

(注)セグメント利益の調整額 2,669百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、当社グループのマネージメント・アプローチ及び事業の実態に合わせ、従来「インターネット広告事業」に属していた事業の一部を「メディア事業」に移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メディア」、「ゲーム」、「インターネット広告」、「その他」、「全社」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下及びサービスの廃止等により当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

メディア	60百万円
ゲーム	3,940百万円
インターネット広告	280百万円
その他	171百万円
全社	55百万円
合計	4,508百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	14円10銭	46円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	1,776	5,879
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	1,776	5,879
普通株式の期中平均株式数(株)	125,932,147	126,055,708
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	12円97銭	43円79銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益調整額(百万円)	53	59
(うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円))	( 53)	( 53)
(うち子会社の発行する潜在株式による調整額 (百万円))	( -)	( 5)
普通株式増加数(株)	6,905,158	6,843,598
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(6,285,767)	(6,285,767)
(うち新株予約権(株))	(619,391)	(557,831)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜 在株式で、前連結会計年度末から重要な変動が あったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月22日

株式会社 サイバーエージェント  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小堀 一英 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 瀧野 恭司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サイバーエージェントの2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年10月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サイバーエージェント及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。